

リズムに乗って曾木PR

土岐市曾木町のイメージソングが完成した。過疎や高齢化に悩む町を盛り上げようと住民たちが企画した。曲のタイトルは「君に逢いたくて…曾木街慕情」。紅葉の名所として知られる曾木公園が舞台になっている。(中川耕平)

町と隣接する愛知県豊田市の作曲家加藤雄二郎さんが曲を提供し、知人の同市の杉本良一さんが作詞した。

公園の紅葉ライトアップが昨年で十五年目を迎えたこともあり、まちおこしの一環で、ライトアップ実行委員会が中心となって取り組んだ。昨年初めに、曾木町をよく訪れている加

愛知・豊田の加藤さん

イメージソング提供

イメージソングのCDを手に「曾木を知ってもらうきっかけになれば」と話す水野健一さん＝土岐市御幸町で



藤さんがメンバーに使ってもらえないか」と「曾木の曲を作ったので 打診した。」

加藤さんがボーカルとギターを務める六人組の「ぺんぎんブラザーズバンド」が演奏し、昨年十一月にCD千枚ができた。

ゆったりとしたテンポのムード歌謡で、曾木に住む昔の恋人を忘れられない男性が、ライトアップでモミジが照らし出された秋の曾木公園を訪れる歌詞になっている。

発起人の一人、水野健一さん(48)は「曾木の魅力を知ってもらうきっかけになれば」と期待する。

CDは一枚五百円。市役所曾木支所や温泉活用型健康増進施設バーデンパークSOGIで販売している。インターネットの無料動画サイト「ユーチューブ」でも視聴できる。